

報告事項（２）

11月定例教育委員会資料	
年月日	令和2年11月30日
担当課	学校保健給食課

令和2年度 通学路合同点検の結果について

- ◆ 点検実施時期 令和2年8月3日から8月21日
- ◆ 点検結果 点検実施箇所69箇所
うち67箇所、97項目の対策を実施予定

令和2年度通学路合同点検対策整理表

学校数	合同点検実施箇所	対策必要箇所	必要対策数
小学校（26校）	60	58	81
中学校（5校）	7	7	15
義務教育学校 （2校）	3	3	3
合計	70 (69)	68 (67)	99 (97)

※ 対策必要箇所・・・対策不要箇所及び対策困難箇所を除いた箇所

※ 必要対策数・・・対策必要箇所における実施者別の対策数（国、県、市町村、警察等）

※ 点検箇所のうち1箇所が小学校・中学校から点検要望があった共通箇所であったため、
合計欄の（ ）内が実数

令和2年度 中学校区別 点検箇所数・必要対策箇所数

中学校区	学校名	点検箇所数	対策必要箇所数	必要対策数
東中校区	東中			
	修立小	1	1	1
	稲葉山小			
	岩倉小	3	3	3
西中校区	西中			
	醇風小			
	富桑小	2	2	3
	明德小	1	1	1
南中校区	南中			
	日進小			
	美保小	1	1	1
	倉田小	1	1	3
	美保南小	3	3	4
北中校区	北中			
	久松小			
	遷喬小	2	2	2
	城北小	3	3	3
江山学園校区	江山学園	1	1	1
高草中校区	高草中	1	1	1
	大正小	4	4	5
	東郷小			
	明治小			
	世紀小			
湖東中校区	湖東中			
	賀露小	2	2	3
	湖山小	7	7	9
	末恒小			
	湖山西小			
湖南学園校区	湖南学園			

中学校区	学校名	点検箇所数	対策必要箇所数	必要対策数
桜ヶ丘中校区	桜ヶ丘中	1	1	2
	面影小	1	1	1
	米里小	1	1	1
	津ノ井小	3	3	4
	若葉台小	2	2	2
中ノ郷中校区	中ノ郷中			
	浜坂小			
	中ノ郷小			
国府中校区	国府中	1	1	2
	宮ノ下小	3	3	4
	国府東小	1	1	1
福部未来学園校区	福部未来学園	2	2	2
河原中校区	河原中			
	河原第一小			
	西郷小	1	1	2
	散岐小	4	3	5
千代南中校区	千代南中	1	1	1
	用瀬小	2	1	2
	佐治小			
気高中校区	気高中			
	宝木小	2	2	2
	瑞穂小	3	3	3
	浜村小	1	1	4
	逢坂小	1	1	2
鹿野学園校区	鹿野学園			
青谷中校区	青谷中	3	3	9
	青谷小	5	5	10

点検箇所数 69箇所（小学校60 中学校7 義務教育学校3）

対策必要箇所数 67箇所（小学校58 中学校7 義務教育学校3）

必要対策数 97対策（小学校81 中学校15 義務教育学校3）

※桜ヶ丘中の点検箇所とその内容は津ノ井小と同一のため、合計の箇所数等を減じている

令和2年度通学路合同点検結果一覧

通し番号	学校名	道路名	道路管理者	対策要・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
1	遷喬小	市道智頭街道	市	信号機のない横断歩道であるが、歩行者優先を守らない車が多いため、信号機設置を希望する。	点検箇所より東西それぞれおよそ50m定周期信号機が設置されており、新規設置は困難。所管交番の警察官による登下校時間の立哨により注意喚起を行う。	警察	随時
2	遷喬小	市道智頭街道	市	コンビニエンスストアの駐車場に入場する車が、歩行中の人がいても強引に入る車が多い。	所管交番の警察官による登下校時間の立哨により、利用者に注意喚起を行う。	警察	随時
3	修立小	県道若葉台東町線	県	交差点が狭い上に交通量が多いため、若葉台方面からの右折車両が急に内回りして曲がるため危険。	交差点改良を検討する。	県	未定
4	富桑小	市道西品治行徳2号線と市道西品治側道線の交差点	市	見通しが悪く危険。既設のカーブミララーに加え、更に1枚のカーブミララー設置を要望	既存カーブミララーの高さを下げ、車両からの視界の改善を図る。	市道路課	未定
5	富桑小	市道西品治行徳2号線、西品治側道線、旧行徳通り、西品治行徳6号線、西品治30号線、西品治45号線、西品治42号線、西品治行徳1号線	市	市道西品治側道線西品治南町線以南のエリアについて、小学校以外にも保育所や病院等の施設があること、また狭い道路が多いためゾーン30の指定を要望する。	①ゾーン30の指定を検討する。 ②ゾーン30の指定に伴う速度抑制対策を検討する。	①警察 ②市道路課	未定
6	城北小	県道伏野覚寺線	県	交通量が多いため、ガードレールの設置を要望するもの。	直線道路で見通しも良いため、ガードレールの設置は困難。通学時の安全指導を行う。	学校	随時
7	城北小	県道伏野覚寺線	県	橋の柵の間隔が広く、川への転落が懸念されるため、間隔を詰めてほしい。	該当箇所について、柵の間隔を詰める対策を行う。	県	未定
8	城北小	市道岩吉安長線・安長3号線	市	カーブミララーの設置を要望。(子どもと車の接触事故あり)	交差点形状も問題なく、見通しも確保されているためカーブミララーの設置は困難。車両運転者への注意喚起を図るため、指導線を設置する。	市道路課	未定
9	美保小	市道吉成線	市	外側線はあるが、歩道が無く危険。垂直パイロンの設置を希望。	パイロンの設置は、車両の通行に支障が出るため困難。通学路の変更などを検討する。	学校	随時
10	賀露小	県道鳥取港湖山停車場線	県	賀露大橋側から、横断歩道を見通し渡るが、交通量が多く危険。賀露大橋信号から賀露大橋横断歩道までの朝の通学時間帯を進入禁止にしてほしい。	現地調査の上、進入禁止(車種限定等の場合あり)について検討する。規制には、地元からの要望書が必要。	地域警察	未定
11	賀露小	主要地方道鳥取港線	県	「かろいち」に向かう道路幅が広く、交通量も多いため横断が危険。信号機の設置を希望。	①土日等休日の交通量も調査した上で、信号機設置の再検討をする。 ②消えかけたゼブラの更新を検討する。	①警察 ②県	未定
12	明徳小	主要地方道鳥取港線(県道41号線)	県	交通量が多いが、ガードレールも緑石もなく危険。	該当箇所について緑石の設置を検討する。(周辺事業者との調整が必要)	県	未定

通し 番号	学校名	道 路 名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
13	倉田小	市道八坂3号線	市	学校側横断歩道付近で車が高速で通過することがあり危険なため、例えばゾーン30の指定などできないか。	①ゾーン30は道路の規模から指定の対象とはならない。朝の通学時間帯に大型貨物車の通行規制をかけることを検討する。②横断歩道、40km/hの道路標示の補修を行う。③「減速」マークの追加を検討する。	①警察 ②市道路課	未定
14	面影小	県道若葉台東町線（県道323号線）・市道正連寺2号線・正連寺団地2号線（交差点）	市・県	通学中の児童が四叉路を確認しなければならず、道幅も狭いため車と接触する恐れがある。接触を避けるため、注意喚起をする看板の設置を要望。	過去の通学路点検で“通学路”の路面標示とカラー舗装、ストップマークを設置済。地域の合意形成があれば正連寺2号線への進入禁止時間規制を検討する。	地域→警察	未定
15	大正小	市道南城北団地17号線	市	公園に接する道路は、朝夕交通量が多く危険。一時停止や速度制限をする必要がある。	①南北に通る2本の市道（南城北団地23号線・24号線）に一時停止の規制を検討する。 ②自動車の速度抑止などの効果を狙い、公園前を含む東西の区間に路側帯の設置を検討する。	①警察 ②市道路課	未定
16	大正小	主要地方道鳥取鹿野倉吉線	県	防護柵が木製だが、近年全国的に交差点で車が突入する事故が多発しており、危険。	木製の防護柵を、車の突入時に安全性の高い、強度が強い材質のものに変更するよう検討する。	県	未定
17	大正小	市道古海22号線（高草団地ゴミステーション前交差点）	市	車両に対する「止まれ」表示がないため、速度を落とさず車両が通過する。	東西方向に各1箇所、一時停止（止まれ）の表示設置を検討する。	警察	未定
18	大正小	県道高路古海線	県	交通量が増えて危険。スクールゾーンかゾーン30の路面標示を要望。	沿線に住宅・事業所があり、道路改良は困難。既に速度規制（30キロ）はされている。要望区間は幹線道路であるため、ゾーン30は実施できない。受け持ち駐在所による警戒を実施する。	警察	随時
19	湖山小	市道湖山賀露線	市	交差点内の横断歩道が奥まっている。徐行マークが必要。	①横断歩道の位置をどこまで前（市道湖山賀露線側）に出せるか検討する。 ②①の対策実施に必要な歩道の切り下げなどの道路改良を、警察と協議の上、検討する。	①警察 ②市道路課	未定
20	湖山小	市道大学通り	市	路側帯の幅が狭く、子どもが車道を歩かなければならないため危険。	幅員が狭く、路側帯を広げるのは困難。車のスピードを落とすような措置を検討する。	市道路課	未定
21	湖山小	県道湖山停車場布勢線	県	押しボタン式信号の横断歩道の人だまりが狭く、左折車の巻き込みが心配。ガードレール等の対策を要望。	①現在の現地の道路状況では、道路改良による対策は困難。信号待ちの際、道路にはみ出さないよう注意喚起する路面標示を設置する。②信号待ちの際、道路にはみ出さないよう、児童に対し指導を行う。	①市協働推進課 ②学校	①R2.8実施済 ②随時
22	湖山小	市道湖山地下道線	市	路側帯が無いため、子どもが車道を歩いており危険。	路側帯の設置について検討する。	市道路課	未定

通し 番号	学校名	道路名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
23	湖山小	県道湖山停車場布勢線	県	交通量が多く、横断歩道の横断が危険。押しボタン式信号の設置を要望。	信号機を設置するには、場所が私有地となってしまうため、設置は困難。横断歩道を横断する際の安全について、児童に指導する。	学校	随時
24	湖山小	市道新川鳥農通り	市	路側帯の幅がほとんど無く、通行に危険がある。	道路の幅員が不足しているため、現状のまま通学する側の路側帯を広げることが不可能。反対側の路側帯の幅を縮小し、縮小した幅の分、通学する側の路側帯を拡幅することが可能か検討する。	市道路課	未定
25	湖山小	県道湖山停車場布勢線	県	踏切と信号による渋滞が多発し、渋滞している車の間に横断歩道があることが多く、大変に危険。押しボタン式信号の設置。歩道橋の設置。	①ハード的な対策は困難（横断歩道…設置すると、踏切で停止する車の影から横断することになり危険。歩道橋…道路の現状では、歩道橋の設置は不可能。） ②通学指導や、見守り活動により安全な通学に努める。より安全な経路で通学できないか検討する。	学校	随時
26	米里小	市道中大路雲山線	市	用水路の水量が増える時期に蓋がないところが危険なので、蓋等の設置を要望。	農業従事者の進入路を残す必要があるため、全面にわたる柵の設置は困難。水路に隣接する水田所有者と協議の上、転落防止策の設置（延長）を検討する。	市農村整備課	未定
27	津ノ井小 椋ヶ丘中	市道久未生山線	市	交通量が多く、かなりのスピードで車が走行しているが、横断歩道に信号がない。以前、高校の生徒が事故にあったこともあり、信号の設置を要望。	①信号機の設置について、検討を行う。 ②信号機が設置される場合、視認性確保のため街路樹の整備を実施する。	①警察 ②市道路課	未定
28	津ノ井小	県道津ノ井国府線	県	歩行スペースが狭く、歩行者の脇を自動車が行くため危険。路肩のカラー舗装及び路側帯の拡張を要望。	路側帯のカラー舗装等を検討する。	県	未定
29	津ノ井小	県道若葉台東町線	県	歩道が狭く、横断歩道を渡る児童の待機場所がないため、自動車店の敷地内に入ってしまう。また、交差点でもあり、内輪差等で巻き込まれそうで危険なためポール等の設置を要望。	Rのない直線的な交差点形状。ゼブラ処理等で内回りしにくくなる方策を検討する。	県	未定
30	岩倉小	県道291号鳥取国府線	県	歩道の側溝が滑りやすく、段差もあり、低学年が転んでしまうことがある。滑らないような対策を要望。	グレーチングと交換可能なコンクリート蓋製品が存在しないため、蓋交換による対応は困難。県道拡幅事業にあわせて検討を行う。	県	未定
31	岩倉小	主要地方道鳥取国府岩美線	県	交通量が多く、車のスピードが出ている。ガードレールの設置を要望。	ガードレールは、道路が見通しの良い直線のため、設置の必要性が少ないが、ウェルネスの交差点にある横断防止柵を頑丈なものに交換するよう検討する。	県	未定
32	岩倉小	県道291号鳥取国府線・市道立川岩倉線交差点	県・市	曲がり角が狭いため、歩道の拡張を要望。	対策実施は、用地確保の点から対応困難であり、県道拡幅事業にあわせて検討する。	県	未定

通し 番号	学校名	道路名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
33	美保南小	市道吉成宮長2号線	市	通学と通勤の時間が重なり、車も通るため、外側線の設置を要望。	外側線を施工することを検討する。	市道路課	未定
34	美保南小	市道吉成宮長2号線	市	道が90度に曲がり見通しが悪い上、一時停止の標識が無い ため、出合頭に衝突する危険がある。カーブミラー又は一時 停止の規制を要望。	①カーブミラーは隅切りがある場合、基本的に設置しないた め困難。グリーンベルトを施工する予定。②カーブ内のみの センターラインの施工を検討する。	①②市道路課	未定
35	美保南小	市道吉成宮長1号線	市	信号に向かってスピードを出す車が多い上、見通しが悪く、 出合頭に衝突する危険があるため、カーブミラーの設置を要 望。	カーブミラーは隅切りがある場合、基本的に設置しないため 困難。国道29号との交差点の信号サイクルを見直し、ス ピードを出しにくくする方法を検討する。	警察	未定
36	若葉台小	市道わかば郵便局通り・若葉台南1号 線交差点	市	「ゾーン30」の区域内だが、標示がないためスピードを出 す車があり危険。「ゾーン30」の標示を要望。	「ゾーン30」の表示については、エリアを明確にするた め、ゾーンの入り口にしか設置できないため、「30」とい う路面表示を設置する。	警察	未定
37	若葉台小	市道わかば山手通り	市	横断歩道はあるが、広い道路で見通しもよく、スピードをか なり出して走行する車が多く危険。40kmの速度制限をか けてほしい。	もう一つの環状道路である市道若葉中央通りの速度規制が5 0キロであるため、整合性を取り50 ^{km} での速度規制を検討 する。規制には、地域住民の合意形成が必要。	警察	未定
38	江山学園	県道猪ノ子国安線	県	冬季の部活帰りの時間帯が暗いため、街灯の設置を要望。	道路灯の設置は、自転車の通学のためというのは難しく、自 動車の通行という観点になるが、点検箇所への設置は難し い。防犯灯としての照明設置を地元地域（補助申請は市へ） で検討する。	地域	未定
39	高草中	市道徳尾5号線	市	歩道が狭く、車道にはみ出すことがあり危険なため、側溝へ の蓋の設置を要望。	歩道は、生徒一人が通行するための十分な幅があり、また側 溝（水路）に蓋をかけることは管理上支障をきたすため、現 状どおりとする。車道へのはみ出しについては、自転車通学 者は車道を走行することとあわせて、学校が生徒に対し通学 指導を行う。	学校	随時
40	宮ノ下小	主要地方道鳥取国府岩美線（県道31 号線）	県	歩行者信号が短く、慌てて渡るため危険であり、信号の時間 の延長を要望。ガードレール等の頑丈な防護柵の設置を要 望。	①信号時間の延長を実施する。 ②防護柵の設置を検討する。	①警察 ②県	①R2.8実施済 ②未定
41	宮ノ下小	市道広西1号線、上町屋1号線及び町 屋11号線	市	雑草の背丈が高く、人通りも少ないため、防犯面でも危険。 上町屋からの合流手前の土手は、幅が狭く歩行用白線が消え ている。	町屋11号線は、点検時には国土交通省による除草作業が終 わっており、見通しについては問題なし。広西1号線は、現在 歩道整備中であり、歩道新設に併せて白線の引き直しを年次 的に行う予定。	市道路課	R4年度まで

通し 番号	学校名	道路名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
42	宮ノ下小	県道三代寺宮下線	県	中郷橋からJAいなばまでの歩道街路樹周辺が根の拡大により盛り上がりがっている箇所があり、転倒の危険性がある。また、街路樹は、毛虫が発生したり、下付近より枝が出たり、丈の高い雑草が生えたりして視界が悪い。	歩道の段差が4～5cmあるところもある。通学路で使用される町屋側の歩道のひどいところから状況を確認し、整備を検討する。害虫対策は定期的に行っている。	県	R 2.10以降順次
43	国府東小	市道高岡宝殿線	市	約10mの間、用水路への落下防止措置がされていない区間があるため、対策を要望。	用水路の深さは市の防護柵設置基準の1mに満たないため、防護柵の設置は困難。また、歩道と水路の間に段差を設けることは、預いて転倒等の危険性がある。子供を近づかせない有効な対策がないか検討を行う。	国府支所	未定
44	国府中	県道三代寺宮下線（中郷橋）	県	小学生と中学生が登校時に行きかうことや、橋のたもとの信号機の青信号の短さで危険があり、中郷橋の拡張を要望。	①信号時間の延長を実施する。 ②中郷橋は歩道の拡張及び橋の架け替えが予定されている。	①警察 ②県	①R2.8実施済 ②R4年度以降
45	福部未来学園	主要地方道鳥取福部線（県道43号線）福部IC付近	県	朝のラッシュ時の車の交通量が多いため、信号機の設置を要望。	当該箇所は信号機設置の基準の交通量に満たないため、困難。小学生が集団登校で横断歩道を渡るための、支所での旗等の設置を検討する。	福部支所	未定
46	福部未来学園	山陰近畿自動車道福部IC下り出口	国	インターチェンジ出口の交通量が多くて危険。信号機の設置を要望。	当該箇所は信号機設置の基準の交通量に満たないため、困難。小学生が集団登校で横断歩道を渡るための、支所での旗等の設置を検討する。	福部支所	未定
47	西郷小	県道本鹿高福線・市道中井山上線	県・市	県道でグリーンゾーンが途切れているところがあり危険なため、横断歩道の設置を要望。また、倉庫により車から児童が見えにくいため、一時停止の規制を要望。	①歩道がない箇所について、グリーンゾーン塗装を検討する。②交通量が少なく、横断歩道設置は困難。一時停止規制の手続きを進める。	①県 ②警察	①未定 ②未定
48	散岐小	県道195号鷹狩渡一本木線	県	佐賀中土居集会所前の横断歩道の待ち場所が狭い。大型車も通り、一車線のため危険。道路の2車線化、歩道の設置を要望。	要望実現のためには、大規模な道路改修が必要であり、現時点での対応は困難。学校において、通学時の安全指導を行う。	学校	随時
49	散岐小	市道佐賀尾上線	市	カーブの見通しが悪く、児童が車とぶつかりそうで危険。	通常の注意を払った運転で対応できる状況と判断し、現状どおりとする。	現状どおり	
50	散岐小	市道下佐貫1号線・向羅線	市	向羅線にガードレールの設置。西山橋手前市道へ横断歩道、街灯の設置。速度規制の要望。	①ガードレールは、道路の幅員が狭くなるため設置できない。照明は、防犯灯として地元申請により設置検討が可能。 ②待機場所が無いなど横断歩道の設置はできない。道路幅員等から、速度規制はできない。（警察）	①地域	未定

通し 番号	学校名	道路名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
51	散岐小	県道195号鷹狩渡一本木線	県	下佐貫バス停前に横断歩道が無く、夜間照明も無いので危険。ガードレールが交差し、出られない箇所があり危険。横断歩道、街路灯、停止線を下佐貫バス停前に設置。横断歩道あり表示、速度規制、横断歩道等の薄くなった路面表示の再塗装。	①街路灯は車の走行の安全のため設置するもので、歩行者用での設置はできない。ガードレールの交差しは、歩行者が入れないようにする。 ②街路灯は防犯灯として、地元申請により設置検討が可能。 ③横断歩道は、近くに既設の横断歩道が2つあり、新設できない。薄くなった路面表示は、対応の手続きを進める。	①県 ②地域 ③警察	①R3年度 ②未定 ③未定
52	用瀬小	国道53号線(鳥居野横断歩道)	国	登下校時の車の往来が多く、横断の際に危険なため、信号機の設置を要望。	①横断歩道の利用者が少なくカーブから100m以上あり、信号機設置は難しい。横断歩道手前のひし形マークは通常2つであるが、3つとすることを検討する。②「この先横断歩道あり」等、注意喚起を促す看板の設置を検討する。	①警察 ②国交省	①未定 ②未定
53	用瀬小	市道用瀬三角線(東井神社横)	市	枝が道路側に出ており、見通しが悪くなっている。	町内で大規模な伐採作業を行い、歩道の確保はできており、現状どおりとする。	現状どおり	
54	千代南中	国道53号線	国	横断歩道横の自転車横断帯の線が薄く、車の運転者から見えにくい。	自転車横断帯の塗り直しを実施する。	警察	R2年度中
55	宝木小	市道宝木中央線	市	国道9号線から宝木に入るところで、以前も土砂崩れがあり危険なため、ガードを作ってほしい。	植物が繁茂しており土砂崩れの危険性が低いため、定期的にバトリールを行い監視する。経過を見ながら、溜まった土砂等があれば、撤去を行う。	産業建設課・ 西工事務所	随時
56	宝木小	市道宝木酒津水尻線	市	歩道が狭く、車との距離が近い、カーブになっており危険。ガードレールやポール又は横断歩道の設置を要望。	急なカーブの箇所へのガードレールやポールの設置は道路幅が狭くなるため困難。既存の歩道を見ながら、溜まった土砂に、横断歩道の設置を検討する。	警察	R3年度
57	瑞穂小	県道233号矢口鹿野線	県	歩道田畑側の溝に児童が落ちる危険があるため、転落防止柵を設置してほしい。横断歩道が薄くなっているため塗り直してほしい。	①歩道から田畑側への高さ1mに満たないため、ガードパイプの設置は不要。(県) ②横断歩道は、塗り直しを検討する。	②警察	R3年度
58	瑞穂小	県道233号矢口鹿野線	県	鹿野方面から鳥取西道路に向かってスピードを出す車が増えしており、通学路の標識の設置を要望。	当該歩道は幅員の確保や縁石の設置で安全を確保している。通学路標識は県の基準では設置しない。通学指導の徹底により安全確保を図る。	学校	随時
59	瑞穂小	市道371下坂本村内線	市	歩道が無く、40センチほどの路側帯が河側にある。グリーン塗装の設置又は通学路の標識設置を要望。また、薄くなっている白線を塗り直し要望。	当該箇所は地区外からの通過交通がほとんどなく、主に地域住民の生活道路であるため、グリーン塗装と「通学路」の標識は不要と判断。白線の塗り直しは、年次的に実施する。	西工事務所	R2年度以降

通し 番号	学校名	道路名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
60	浜村小	県道八束水勝見線	県	①スピードを出す車や一時停止をしない車がある。交通ルールの遵守の指導等をしてほしい。②道幅が狭く、車どうしがすれ違う時、歩道まで車が出しやすくなってしまう。道路の拡張、ガードレールの設置等を要望。③横断歩道及びグリーン塗装、ゼブラゾーンが剥けてきて見えにくいため、塗り直しをしてほしい。	①所管警察署が取り締まり強化や交通安全指導を行う。②歩道拡幅は困難。ガードレール設置も、事故の原因となる可能性があるが、グリーンゾーンは、すぐには困難だが、経過を見ながら優先順位を決め実施する。⑤ゼブラゾーンは、再塗装か、ラバーポール設置を検討する。	①③警察 ④⑤県	①随時 ③④⑤R2～3 年度
61	逢坂小	県道198号鷲峰気高線	県	歩道脇の側溝の蓋がない箇所に蓋の設置を要望。	①側溝の蓋がある部分に関しては歩道幅を確保するためであり、無い部分は十分な歩道幅が確保されており、設置不要。通学指導の徹底により安全確保を図る。②草が伸びて、側溝が見えない場所は、バスターの近くであることから、除草を検討する。	①学校 ②県	①随時 ②R2年度
62	青谷小	県道274号青谷停車場手線	県	鳥取西道路開通後、当該地点の交通量が増えているため、押しボタン式の信号機設置を要望。	①速度規制のための警察による取り締まりを強化する。 ②交通安全対策協議会で交差点に街頭指導で立つ。 ③史跡公園整備にあわせて信号機の設置を検討する。 ④交差点にガードレールの設置を検討する。	①警察 ②交通安全対策協議会 ③警察 ④県	①随時 ②随時 ③未定 ④未定
63	青谷小	県道274号青谷停車場手線	県	狭い道だがスピードを出す車が見られる。スピードを抑制するマーカ一等の設置を要望。	速度規制や路肩のカラー舗装が実施されており、これ以上の対策は困難。児童に対し、通学時の交通安全指導を行う。	学校	随時
64	青谷小	市道栄町環状線	市	交通量が多いため、三叉路にミラーの設置を要望。	停止線を引いて危険を抑制する。	産業建設課	R2年度
65	青谷小	主要地方道倉吉川上青谷線	県	平成27年に死亡事故があった交差点への押しボタン式信号機の設置を要望。	事故後、2箇所の横断歩道標識を夜間点灯式のものに取り替えている。①横断歩道などの道路標示が、不明瞭な箇所があるので、塗り直す。②車の速度規制のための警察による取り締まりを強化する。	①②警察	①未定 ②随時
66	青谷小	県道259号泊絹見青谷線	県	絹見からの車でスピードが速い車を見かける。バス停付近に通学路や減速の表示等を要望。	①バスターの標識が、樹木の陰になり、車から見にくい。標識の位置を見えやすいように変更する。②通学用バス停ありなどの看板を交通安全対策協議会や保護者の会などで製作できないか検討する。	①産業建設課 ②PTA・交 対協	①R2.8実施済 ②未定
67	青谷中	市道中学校1号線	市	街灯がなく暗くて危険。	防犯灯としての照明設置を地元地域（補助申請は市へ）で検討する。	地域	未定

通し 番号	学校名	道 路 名	道路 管理者	対策要望・危険な状況	対策内容	対策者	実施時期
68	青谷中	市道露谷本線・主要地方道倉吉川上青谷線・県道青谷停車場井手線	市・県	(市道) ①路肩が狭く、凹凸がある。②暗いため、道路照明を増やしてほしい。③県道との交差点にガード設置要望。④カーブミラーの汚れ(県道) ⑤倉吉川上青谷線の線路北側が暗くて狭い。	①本格整備は史跡公園整備に合わせて行う(市西工事)。それまでは、破損等あれば小修繕で対応する(市支所産建)。②折れている街灯(照明灯)は市で修繕対応する。(撤去・設置) ③管理者(県)が設置を検討する。④管理者(市)で清掃する。⑤地元で防犯灯設置の申請があれば、市は設置可能。道路の幅員拡張は、土地買収も必要となり、対応困難。	①西工事事務所・支所産建 ②支所産建 ③支所産建 ④支所産建 ⑤支所産建	①随時 ②R2.8撤去 済。設置は未 定 ③未定 ④R2年度 ⑤未定
69	青谷中	県道280号俵原青谷線・市道奥崎早牛線	県・市	①(県道)車がスピードを出し、横断が危険。②(市道)大坪・奥崎方面からの車から、横断歩道の端にいる人が、障害物で見にくい。渡ってすぐに車が来ることもあり危険。	①横断歩道に人が立っていると、車は停止する義務がある。警察が取り締まりをする。②市道の道路標示で、消えて不明確な路側帯の塗り直し。③横断歩道標示の西側2面の削除。	①③警察 ②西工事事務所	①随時 ②R2年度 ③未定